

船舶機関Ⅰ（シラバス）

学校名		課程	校長名	教頭名			担当者名
沖縄水産高等学校		全日制	福地 修 印	福里 達也 印	新屋敷 博史 印	石川 尊士 印	
科目名	単位数	標準単位数	対象学科・コース・類型・系列	対象学年・組	必修・選択	使用する教科書	
船舶機関Ⅰ（座学）	2	～	総合学科	2年	選択	海文堂出版「海技士6Eセレクト問題集」	

特記事項							
科目目標		<p>水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、船舶の機関及び機械装置の運転に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)船舶の機関及び機械装置の運転や管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】</p> <p>(2)船舶の安全運航に必要な機関に運転や管理に関する課題を発見し、船舶の機関及び機械装置の運転や管理に従事する者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>(3)船舶の機関及び機械装置の安全かつ効果的な運転、管理を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う【学びに向かう力、人間性等】</p>					
評価の観点		知識・技術	思考・判断・表現			主体的に取り組む態度	
		船舶の機関及び機械装置の運転や管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	船舶の安全運航に必要な機関に運転や管理に関する課題を発見し、船舶の機関及び機械装置の運転や管理に従事する者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている			船舶の機関及び機械装置の安全かつ効果的な運転、管理を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている	

年間指導計画表

月	予定 時数	実施 時数	指導項目	指導内容（教科書）	評価の観点			評価規準・評価方法			振り返り
					知	思	態	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
4 5 6 7	25		1 機関（その一）に関する内容 ①ディーゼル機関等 ②プロペラ装置	ディーゼル機関等、プロペラ装置について指導する（海技士6Eセレクト問題集 P3～83）	○	○	○	・ディーゼル機関等、プロペラ装置について基礎的な内容を理解している。 ■小テスト	・ディーゼル機関等、プロペラ装置についての課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ■話し合い・発表	・ディーゼル機関等、プロペラ装置について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ■発言・行動観察、自己評価シート、ワークシート	※年度末のP D C Aサイクルのための点検記入欄
9 10 11 12	30		2 機関（その二）に関する内容 ①各種ポンプ ②冷凍装置及び圧縮空気装置 ③油清浄装置 ④電気 ⑤油圧装置及び甲板機械 ⑥測定装置 ⑦燃料油及び潤滑油 ⑧単位、密度、計算問題	各種ポンプ、冷凍装置及び圧縮空気装置、油清浄装置、電気、油圧装置及び甲板機械、測定装置、燃料油及び潤滑油、単位、密度、計算問題について指導する（海技士6Eセレクト問題集 P87～139）	○	○	○	・各種ポンプ、冷凍装置及び圧縮空気装置、油清浄装置、電気、油圧装置及び甲板機械、測定装置、燃料油及び潤滑油、単位、密度、計算問題についての課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ■小テスト	・各種ポンプ、冷凍装置及び圧縮空気装置、油清浄装置、電気、油圧装置及び甲板機械、測定装置、燃料油及び潤滑油、単位、密度、計算問題についての課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ■話し合い・発表	・各種ポンプ、冷凍装置及び圧縮空気装置、油清浄装置、電気、油圧装置及び甲板機械、測定装置、燃料油及び潤滑油、単位、密度、計算問題について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ■発言・行動観察、自己評価シート、ワークシート	
1 2 3	15		4 執務一般に関する内容 ①当直、保安及び機関一般 ②船舶による環境の汚染の防止 ③損傷制御 ④船内作業の安全 ⑤海事法令	当直、保安及び機関一般、船舶による環境の汚染の防止、損傷制御、船内作業の安全、海事法令について指導する（海技士6Eセレクト問題集 P143～181）	○	○	○	・当直、保安及び機関一般、船舶による環境の汚染の防止、損傷制御、船内作業の安全、海事法令について基礎的な内容を理解している。 ■小テスト	・当直、保安及び機関一般、船舶による環境の汚染の防止、損傷制御、船内作業の安全、海事法令についての課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ■話し合い・発表	・当直、保安及び機関一般、船舶による環境の汚染の防止、損傷制御、船内作業の安全、海事法令について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ■発言・行動観察、自己評価シート、ワークシート	
計	70										